



～ 東大野球部に学ぶ講演会 ～

2月22日(木)に1年生対象で「東大野球部に学ぶ講演会」がありました。4名の講師の大学生には大変貴重なお話をいただきました。1年生からたくさんの質問が出るなど、非常に有意義で充実した講演会だったと思います。

講師の東大生の話には、私たちが学ぶべき内容や参考にしたい取り組みなどヒントがたくさん詰まっていたように感じました。特に高校時代は野球部を一生懸命頑張ったという山下さんは、6時からの早朝練習と放課後の練習が午後9時半までだったということで、家庭学習の時間が取れない状況から「授業を大事にした」と語っていました。「勉強は授業で完結する」という発想は「凄い」の一言です。要するに授業で疑問を残さないとのことでした。



その他にも集中して勉強する時と休憩時間の「メリハリ」の大切さや「自分のライフスタイルに合う勉強時間の確保の仕方」についての話が印象的でした。夜勉強をしたいが眠くてしょうがなければ、朝早起きして頭がスッキリした状態で1時間勉強するなど具体的に示してくれました。また、友人同士や部活動仲間と一緒に勉強していた話も生徒のみなさんに参考になったのではないのでしょうか。

東大野球部の話を聞いているときに感じたことですが、以前にも同様の話を聞いた覚えがあります。それは6月に行われたPTA主催の「保護者対象進路講演会」で現役合格をした本校卒業生の講演です。詳細は「Next stage! 第6号」にあります。このことを考えると、結果を残す人たちに共通していることは、「やると決めたら、やる」「自分流のスタイルを持つ」「目標を早めに決めて取り組む」等の信念です。

校長

● 書き初め展 ●

第56回全沖縄児童生徒書き初め展の結果を見て驚いた。本校から最優秀賞が3名も出た。そればかりか金賞4名、銀賞21名と活躍目覚ましい。

書道の宮城恵先生によると授業の作品を応募したということである。それからすると浦高の授業の取り組みは相当質の高いものであるということが分かる。今回の受賞者の皆さんはこれをきっかけに、本格的に取り組んではどうだろうか。みなさんの隠れた才能が開花するかもしれないぞ。

話は変わるが、飲酒運転撲滅運動やキラ星祭で披露した書道部の書道パフォーマンスは大変好評で、あらゆる方面の方からお褒めの言葉をいただいた。日頃の書との違いがあるにせよ、短時間で書き上げる醍醐味は人々の感動を呼んでいる。教育委員会のHPにも掲載され、わざわざ写真を届けてくれた方もいました。励みになりますね。



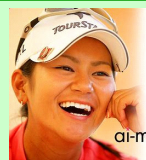
校長

*** 校長雑感 ***

自転車の乗り方について、苦情の電話が寄せられている。便利な乗り物で、浦高の通学手段として欠かすことが出来ない。浦高では現在約370名の通学者がいるが、今一度心して考えてもらいたい。自転車は道路交通法により、車輛として定められ、その乗り方のルールがしっかり存在する。不注意で被害者になったり、加害者になることはあってはならない。

～～～ 時の言葉 ～～～

人間って楽な方に行こうとするんですが、「ここで負けても次があるや」って思ったら、もうそれで終わり。



宮里 藍
(元プロ女子ゴルファー)

「藍ちゃん」で親しまれ、2017年シーズン限りで現役引退を表明した。「ひとたび遇えば誰でもファンになる」と言われるほどの人間力を持っている。幾多のトーナメントで優勝し、戦い続けてきたプロとしての力強い言葉。

校長

～最終志願倍率～

高校一般入試の最終志願状況が発表された。浦高は300名の募集定員に当初は357名の応募がありましたが、取り下げ、志願変更等がありました。最終的には339名が応募し、志願倍率1.13倍となっている。昨年度1番人気の学校でも今年度は定員割れを起こすなど、受験生の動きはなかなか読みづらいが、浦高は相変わらず人気のある学校である。

この結果から浦高を希望する受験生にとっては気の抜けない厳しい闘いとなる。しかし、高校入試がある以上避けては通れない試練なので、頑張っ乗り越えてほしいものだ。

